

原子力発電所の運転および建設状況

平成10年4月7日現在

設備容量	運転中	14基	計1145万kW
	建設中	1基	計 28万kW

項 目 発電所名		現 状	稼働率（進捗率）%		概 要
			平成9年度	運開後累計	
日本原子力発電(株)	1号機	定期検査中	64.1 63.8	69.8 66.5	第25回定期検査(H10.3.19～7月下旬予定) H10.3.19 0°発電停止。
	2号機	運 転 中	75.4 74.9	83.5 82.9	
敦賀発電所		運 転 中			
動力炉・核燃料開発事業団 新型転換炉ふげん発電所		運 転 中	47.8 46.8	66.9 65.3	
動力炉・核燃料開発事業団 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	—	—	H7.12.8 19°47' 中間熱交換器(C) 2次系配管からのナトリウム漏えいに伴い、21°20' 原子炉手動停止。
関西電力(株)	1号機	運 転 中	81.5 80.8	46.9 43.7	
	2号機	運 転 中	89.4 88.5	58.2 56.2	
美浜発電所		運 転 中	88.9 88.4	73.2 71.6	第16回定期検査(H10.1.18～3.24) H10.1.18 1°発電停止。2.24 17°30' 原子炉起動。 2.25 4°35' 臨界。2.27 13°26' 調整運転開始。 3.24 15°20' 営業運転再開。
関西電力(株)	1号機	運 転 中	76.2 75.8	60.2 58.9	
	2号機	運 転 中	69.8 69.3	72.1 70.7	H10.3.13 B-ヒートポンプが自動停止し、電気出力微小低下。 3.24 B-充てん/高圧注入ポンプの弁付け根部から僅かに漏えいが認められたため自動待機除外とし、点検・補修を実施。（添付資料参照）
大飯発電所		定期検査中	95.6 95.6	87.6 87.1	第5回定期検査(H10.3.16～5月中旬予定) H10.3.16 0°発電停止。
	4号機	運 転 中	100 100	81.7 81.2	
関西電力(株)	1号機	運 転 中	68.7 68.1	62.1 60.3	
	2号機	運 転 中	88.1 87.6	63.3 61.2	
高浜発電所		運 転 中	82.5 81.9	84.0 83.4	
	4号機	運 転 中	88.2 87.8	84.1 83.6	第10回定期検査(H10.1.15～3.25) H10.1.15 1°発電停止。2.24 16°48' 原子炉起動。21°42' 臨界。 2.27 1°56' 調整運転開始。3.25 15° 営業運転再開。
		合 計	79.7 82.1	67.1 68.0	(注) 稼働率（進捗率）は、平成10年3月末現在。 累計は、営業運転開始以降。

上段が、時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$

下段が、設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

平成9年度安全協定に基づく軽微な異常事象報告
(平成10年3月分)

大飯発電所2号機B-充てん／高圧注入ポンプの待機除外について

- ・発生日時：平成10年3月24日 15時30分（待機除外）
- ・終結日時：平成10年3月26日 03時40分（待機状態復帰）
- ・故障箇所：B-充てん／高圧注入ポンプ
- ・放射能による周辺環境への影響：なし。
- ・国の取扱い：法律・通達に基づく報告対象外。
- ・事象概要：

大飯発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格出力117.5万kW）は、定格出力にて運転中のところ、平成10年3月24日11時10分頃、運転員の巡回点検において、B-充てん／高圧注入ポンプ（停止中）の入口ベント弁付け根の配管溶接部にわずかな漏えいを確認した。このため、漏えい部の点検・補修を行うこととし、同日15時30分に同ポンプを待機除外とした。

漏えい部の点検の結果、周方向に約26mmの割れが認められ、現地での破面観察等の結果から、割れは溶接の施工不良に伴う疲労割れと推定された。

対策として、当該溶接部を削除、溶接補修を行い、漏えい検査等により当該部の健全性を確認した後、3月26日03時40分に同ポンプを待機状態に復旧した。また、類似のA-充てん／高圧注入ポンプの入口ベント弁付け根の配管溶接部について点検を行い、健全性を確認した。

<参考>

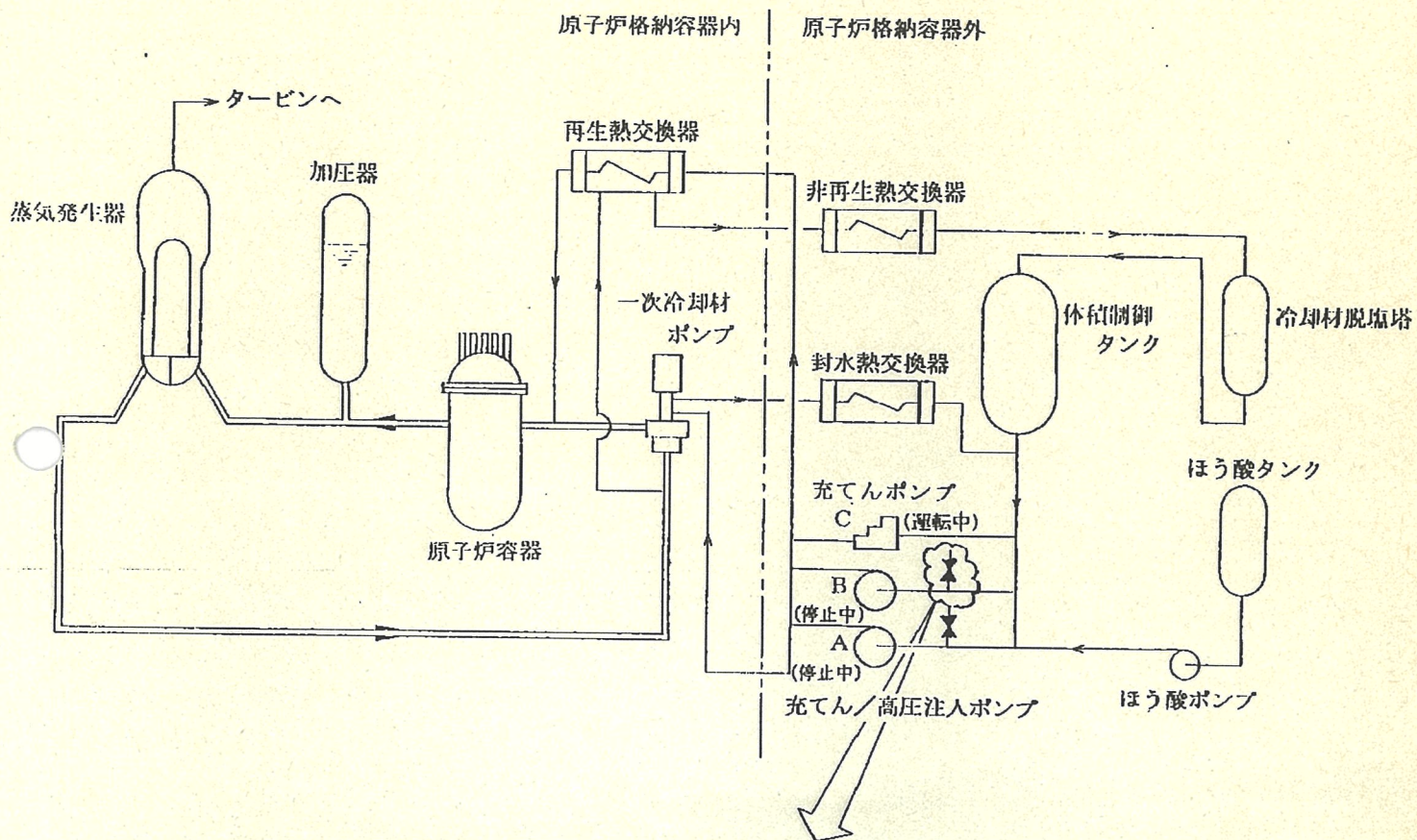
[充てん／高圧注入ポンプ]

大飯2号機には、1次冷却材系統の必要な保有水量、ホウ素濃度および水質を調整する化学体積制御系のポンプとして、充てんポンプ1台、充てん／高圧注入ポンプ2台の計3台があり、通常はこのうち1台が運転している。充てん／高圧注入ポンプは、1次冷却材喪失等の事故時には、燃料取替用水タンクの水を原子炉に注入する安全注入系のポンプとしての機能も有している。

[待機除外]

通常は、1次冷却材喪失等の事故に備え、いつでも自動で起動できる状態（待機状態）にあるが、点検等のため自動起動できない状態とすることを待機除外という。

充てん／高圧注入ポンプ系統図



B-充てん／高圧注入ポンプ入口ベント弁廻り配管図

